

木津

いにしへの息吹を体感する・・・

相楽神社

さがらかみしんじや

MAP B-2

江戸時代までは八幡宮と呼んでいました。現在は、本殿（重要文化財）、末社 5社、豊八幡神社、拝殿、南北氏子詰所、社務所、客殿、四聖門、鳥居等で構成されています。建立年代は詳らかではありませんが、様式手法から室町時代中期（南北）と見られ、より時代を現しているといえます。また、和様の相楽に対し唐様と大仏様の手法を加えているなど注目すべきものをもっています。



本殿（重要文化財）

石のカタラ古墳

MAP A-3

木津川市と奈良市の境、標高112mの丘陵状斜面に築造された上円下方墳で、国の史跡に指定されています。立地から平城京遷都に関連する皇族の墓ではないかとわれています。



安福寺

MAP C-1



開基は「往生叢書」を著した思心僧都と伝えられています。平重衡（たいらのしげら）命の引師仏と伝えられる本尊「阿弥陀如来坐像」がある本堂は「哀堂（あひだう）」と呼ばれ、境内には重衡供養塔と云われる「十三重石塔」があり、近くに重衡にかかわる「首洗池（くびあらいいけ）」や「不成林（ならずき）」もあります。



先人からの贈り物、その想いに触れてみる

大智寺

MAP C-2



奈良時代に行基によって木津川（旧名：泉川）に架けられた泉大智寺、後に流れ落ちましたが、鎌倉時代に至って、残っていた横柱から文殊菩薩を刻みだし、創基を建立して安置したのが現在の大智寺の前身の横柱寺とされています。その後衰没しますが、寛文9年（1669）東福門院の下願によって本殿が中興、横柱大智寺と改称しました。

◆大智寺 創建（府登録文化財）

南山城地方で江戸時代中期（寛文期）の館籠がこれだけ残るのは貴重として登録文化財となりました。木津川左岸の泉大智の南に館籠を構え、境内は西三山門、山門からの参道正面に西面に本堂、参道の北側に鐘楼堂、本堂北側からの廻り廊下で接続された講堂が南面に配置される構成となっています。

◆大智寺 十一面観音坐像（重要文化財）

平安時代の10世紀末に作られた像高109.1cm、一木造の像です。穏やかな表情で、腕削（わんせん・腕削り）を一本から刻みだし、体に内割（うちりく）もない点に古様が見られます。

◆大智寺 文殊菩薩坐像（重要文化財）

鎌倉時代、弘安（1278～1288）年間に作られた高さ65.2cmの密木造の像です。唐風の服をまとい、左手に経巻をのせた蓮華座、右手に宝剣を持ち、左足を垂らし獅子の上の蓮華座に坐っています。



時をへて行々遺蹟、いにしえを詠む



岡田神社

MAP C-2

旧社殿は舞台を中心に拝殿・氏子詰所を記する相楽郡地域に伝わる社殿配列形態をとめています。室町時代の惣の社の姿を伝える重要なものでもです。



旧社殿（府登録文化財）

南青山 西念寺

MAP D-1



◆西念寺 密宗如来坐像（府指定文化財）

密部堂の本尊です。平安時代後葉、12世紀前半に作られたものです。右手を撫無畏印とし、左手に薬毒をとる蓮の姿ですが、製作技法は一本削り造という特殊なものとなっています。台座は上から蓮華・束・華籠・数茄子・土台・反花・蛇座、二段板（横定石）という九重蓮華座で、当初からのものです。



おすすめハイキングコース

- | | | | |
|---|---|--|--|
| <p>1 コース(約11km)</p> <p>奈良時代の
瓦葺館跡を巡るコース</p> <ul style="list-style-type: none"> 近鉄高の原駅 石のカタラ古墳 音津平公園 上人ヶ平公園 常盤塚神社 法然上人念仏石 馬場南講跡 JR木津駅西口 | <p>2 コース(約10km)</p> <p>鹿角山コース</p> <ul style="list-style-type: none"> JR木津駅東口 御音神社 西念寺 鹿角山城跡 鹿角山不動 赤橋(大仏鉄道) 藤原百川公園 相楽神社 大智寺 JR木津駅西口 | <p>3 コース(約6km)</p> <p>木津外周コース</p> <ul style="list-style-type: none"> 近鉄高の原駅 土師山公園 法泉寺 相楽神社 藤原百川公園 伝和泉式部の墓 大智寺 JR木津駅西口 | <p>4 コース(約4km)</p> <p>奈良街道コース</p> <ul style="list-style-type: none"> JR木津駅東口 上津津跡公園 安福寺 不成寺・首洗池 木津惣墓五輪塔 泉寺塔 三柱塔夜灯 岡田神社 JR木津駅西口 |
|---|---|--|--|

木津エリアハイキングコース